

例 言

1. 本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の1996年度の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査および整理作業は、国庫（2,800,000円）、県費（1,400,000円）の補助金の交付を受け、平成8年4月3日から平成9年3月31日まで実施した。
また、本書掲載の大井町遺跡調査会実施の発掘調査は以下のとおりである。
神明後遺跡第3地点 委託者 創和産業株式会社
浄禅寺跡遺跡第15地点 委託者 武蔵野建設株式会社・高野幸男
3. 調査組織

調 査 主 体 者	大井町教育委員会
担 当 課	生涯学習課文化財保護係
教 育 長	高橋好次郎
生涯学習課長	池本敏雄
文化財保護係長	岡田真一（平成6年度～平成8年9月31日） 喜多川泰実（平成8年10月1日～）
文化財保護係・発掘調査担当者	坪田幹男・高崎直成・鍋島直久
大井町臨時職員・発掘調査調査補助員	阿部智巳（平成7年）・土本医（平成8年5月1日～）
4. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。
執 筆：各調査担当者の協力を得て高崎直成が行った。
遺物整理：整理参加者全員
土器復元：中田藤子 土器実測：石垣ゆき子 土器拓影：石垣ゆき子・高橋けい子・中田藤子
石器実測：高橋けい子・土本医・(有)文化財コム トレース：小林登喜枝・高橋けい子
図版作成：石垣ゆき子・高橋けい子・中田藤子・山口妙子 表作成：植田勢津子
遺構写真：坪田幹男・高崎直成・鍋島直久・阿部智巳・土本医 遺物写真：高崎直成
また、本書の作成にあたり日本考古学協会の今井堯氏の絶大な援助と協力を得た。
5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・御協力を賜った。
会田明、浅野晴樹、穴澤義功、荒井幹夫、市丸靖子、今井堯、内田賢司、岡田憲治、小澤千恵子、梶原勝、梶原喜世子、加藤秀之、神木繁嘉、國見徹、隈本健介、倉田芳郎、小出輝雄、酒井清治、桜井信枝、笹森健一、島田一郎、鈴木裕子、田中信、中島宏、塚田政子、原口雅樹、早坂廣人、松本新八郎、松本富雄、水村孝行、宮瀧交二、柳井章宏、柳沢健司、和田晋治（敬称略）
埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課、大井町大井・苗間第一土地区画整理組合、亀久保特定土地区画整理組合、東久保土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、大井町遺跡調査会、(有)文化財コム。
6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の諸氏である。記して厚く感謝の意を表したい。
〈発掘調査参加者〉（敬称略）
会沢泉、新井和枝、荒井美奈子、飯塚泰子、井上晴江、内田信治、海老原サナエ、大曾根キク子、笠原英子、金子君子、金丸文男、神木光治、小林こずい、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、高木千恵子、戸澤竹二、中嶋末子、仲里しげ子、(故)並木宗次、野岡由紀子、野沢松代、林きぬ子、比嘉洋子、三村美代子、森脇やよい、山下一枝、若尾久美子、若林紀美代
〈整理作業参加者〉（敬称略）
青山奈保美、石垣ゆき子、植田勢津子、軽部美波、小林登喜江、斎藤尽志、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。
 - (1) 縮尺は原則として
 遺構配置図 1:300 遺構平面図・遺物出土状況図 1:60 炉などの詳細図 1:30
 土器実測図 1:4 土器拓影図・石器実測図 1:3
 - (2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。
 - (3) 遺構図における screen tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。
 攪乱  地山(ローム層)  焼土 
 土器● 石器★ 礫○ チャート□ 黒曜石▲ その他■
2. 住居跡名・地下式墳・集石は、遺跡内の通し番号にしている。
3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第2表 1996年度埋蔵文化財調査一覧

No.	遺跡・地点	所在地	面積 (㎡)	原因	調査期間	調査結果
1	本村遺跡第52地点	市沢328	140.00	倉庫	8. 4.10～8. 4.25	試掘
2	本村遺跡第53地点	大井243-2 244-1	139.04	個人住宅	8. 4.17～8. 6.25	試掘
	本村遺跡第53地点	大井289-1、352の一部	136.97	分譲住宅	8. 6.19～8. 6.25	試掘
3	本村遺跡第54地点	大井市沢3491-2	207.00	個人住宅	8. 4.11～8. 4.17	試掘
4	西ノ原遺跡第86地点	苗間113-2、93-1の一部	698.00	個人住宅	8. 4.19～8. 4.19 8. 4.22～8. 5.15	試掘後教育委員会で 本調査
5	亀居遺跡第45地点	亀久保1008-5 1011-5	619.00	共同住宅	8. 5.15～8. 5.17	試掘
6	東久保遺跡第3地点	亀久保284-1	270.00	学童保育所	8. 5.20～8. 5.29	試掘
7	本村遺跡第55地点	大井125-1 38-2	936.00	共同住宅	8. 5.23～8. 5.30 8. 6.25～8. 7.31	試掘後遺跡調査会で 本調査
8	浄禅寺跡遺跡第14地点	苗間360-1 362-2	2,178.88	個人住宅	8. 6. 3～8. 6.12 8. 6.18～8. 7.11	試掘後教育委員会で 本調査
9	浄禅寺跡遺跡第15地点	苗間362-4 362-5	494.76	分譲住宅	8. 6. 3～8. 6.12 8. 7.12～8. 8.2	試掘後遺跡調査会で 本調査
10	東久保遺跡第4地点	亀久保364-1	618.00	仮設道路	8. 6. 7～8. 6.10 8. 6.11～8. 6.17	試掘後遺跡調査会で 本調査
11	西ノ原遺跡第87地点	苗間西ノ原182-1	344.00	学習塾	8. 6.14～8. 6.17	試掘
12	神明後遺跡第4地点	苗間302	703.76	物置	8. 6.17～8. 6.19	試掘
13	亀居遺跡第46地点	亀久保1007-17	192.00		8. 6.24～8. 6.25	試掘
14	東久保南遺跡第9地点	東久保518-1	225.02	個人住宅	8. 7. 1～8. 7. 3	試掘
15	西ノ原遺跡第88地点	苗間西ノ原182-3 189-2 202-1	745.00	共同住宅	8. 7.16～8. 7.22 8. 8. 1～8. 8. 8	試掘後遺跡調査会で 本調査
16	西ノ原遺跡第89地点	苗間西ノ原112の一部	143.98	個人住宅	8. 7.17～8. 7.18	試掘
17	本村遺跡第56地点	大井市沢302-1	243.00	個人住宅	8. 7.18～8. 7.19 8. 7.24～8. 7.	試掘後遺跡調査会で 本調査
18	西ノ原遺跡第90地点	苗間西ノ原142-2	177.28	個人住宅	8. 7.31～8. 7.31 8. 8. 7～8. 8.30	試掘後教育委員会で 本調査
19	西ノ原遺跡第91地点	苗間169	477.00	店舗	8. 8. 1～8. 8. 5	試掘
20	江川南第5地点	東久保1丁目194、195の一部	2,092.59	店舗	8. 8. 5～8. 8. 8 8. 8.12～8. 8.29	試掘後遺跡調査会で 本調査
21	大井氏館跡遺跡第10地点	大井208-1 209-1 210-4	1,153.46	ガソリンスタンド	8. 8.22 8. 9.19～8.10. 2	試掘後遺跡調査会で 本調査
22	本村遺跡第57地点	大井331	300.00	共同住宅	8. 8.28～8. 8.29	試掘
23	東中学校西遺跡第3地点	東久保465、500他	10,200.00	公園	8. 8.29～8. 9.13	試掘後遺跡調査会で 本調査
24	亀居遺跡第47地点	亀久保1013-1	2,741.00	共同住宅	8. 9.11～8. 9.17 8.10. 1～8.12.11	試掘後遺跡調査会で 本調査
25	西ノ原遺跡第92地点	苗間192-2	684.00	店舗併用共同住宅	8.10.23～8.10.28	試掘
26	西ノ原遺跡第93地点	苗間315	141.91	分譲住宅	8.10.22～8.10.23	試掘
27	東台遺跡第26地点	大井東台601-1、4、5	2,248.14	共同住宅	8.11. 6～8.11.18	試掘後遺跡調査会で 本調査
28	西ノ原遺跡第94地点	苗間145-2	165.29	個人住宅	8.11.11～8.11.12	試掘
29	中沢前遺跡第11地点	苗間191-1	155.38	個人住宅	8.11.12～8.11.12	試掘
30	西ノ原遺跡第95地点	苗間154	283	商業ビル	8.11.14～8.11.19	試掘
31	東久保遺跡	亀久保21街区	26.40	雨水管布設	8.11.15	
32	東久保南遺跡第11地点	東久保464、499他	10,500	共同住宅	8.11.22～9.1.31	試掘
33	西ノ原遺跡第96地点	苗間441	333	個人住宅	8.12.17～8.12.20 9. 1. 9～9. 1.14	試掘後教育委員会で 本調査
34	中沢前遺跡第12地点	苗間221	1,323.45	個人住宅	8.12.18～8.12.20	試掘
35	西ノ原遺跡第97地点	苗間97-2	141.92	分譲住宅	8.12.19～8.12.20	試掘
36	本村遺跡第58地点	大井東原279・282の一部	148.77	個人住宅	8.12.24～9. 1. 9	試掘
	本村遺跡第58地点	大井東原279・282の一部	135.54	店舗併用住宅	8.12.24～9. 1. 9	試掘
37	西ノ原遺跡第98地点	苗間171-2	206	個人住宅	9. 1. 6～9. 1. 6	試掘
38	西ノ原遺跡第99地点	苗間97-1	396.69	個人住宅	9. 1.20～9. 1.24	試掘
39	亀居遺跡第48地点	亀久保995-19	858	プレハブ事務所	9. 1.20～9. 1.29	試掘
40	東中学校西遺跡第4地点	東久保326他	24,681	商業ビル	9. 2. 6～9. 3. 6	試掘後遺跡調査会で 本調査
41	本村遺跡第59地点	大井365-2	331	共同住宅	9. 2.12～9. 2.12	試掘
42	東台遺跡第27地点	大井600-1	965.41	個人住宅	9. 2.19 9. 2.19～9. 3.14	試掘後教育委員会で 本調査
43	西ノ原遺跡第41・59地点	苗間		ブロック建設	9. 3.13～9. 3.14	本調査
44	東台遺跡第28地点	大井東台710-4	231	個人住宅	9. 3.17～9. 3.19	試掘
45	神明後遺跡第5地点	苗間神明後395-5	80.17	個人住宅	9. 3.15 9. 3.15～9. 4. 2	試掘後教育委員会で 本調査
調査面積合計			70,211.81			

XIII 東台遺跡の調査

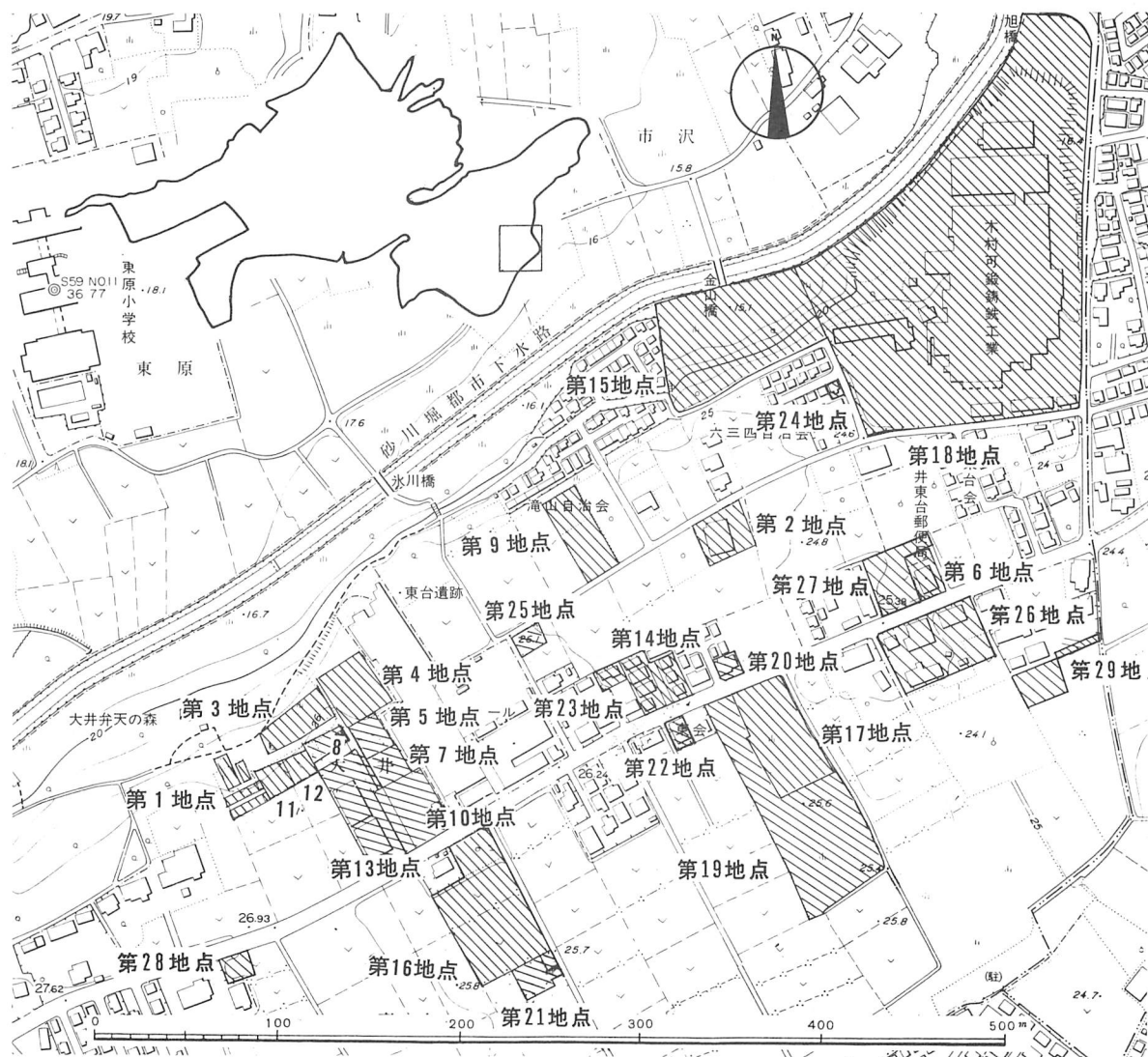
1 遺跡の立地と環境

東台遺跡は大井町の南端、川越街道と東武東上線に挟まれ、東上線ふじみの駅の南約1kmの位置にある。遺跡の立地する武蔵野台地には無数の河川が台地を開析して荒川低地へと注いでいくが、遺跡の北側を流れる砂川堀もそんな河川の一つである。狭山丘陵北嶺を水源とする砂川堀は中流域で一旦伏流水となるが、再び下流域で流水が始まると、台地を開析して、砂川の右岸に急崖を形成し始める。なおこの砂川については「町内遺跡群Ⅲ」(坪田1995)に詳述しているので参照されたい。東台遺跡はこの急崖上に立地し、砂川堀とは比高差が5mある。この崖に沿って東西700m、南北250mの範囲で遺跡が広がる。標高は24~26mある。遺跡面積約125,000㎡のうち約25,000㎡を調査、20%の発掘率である。

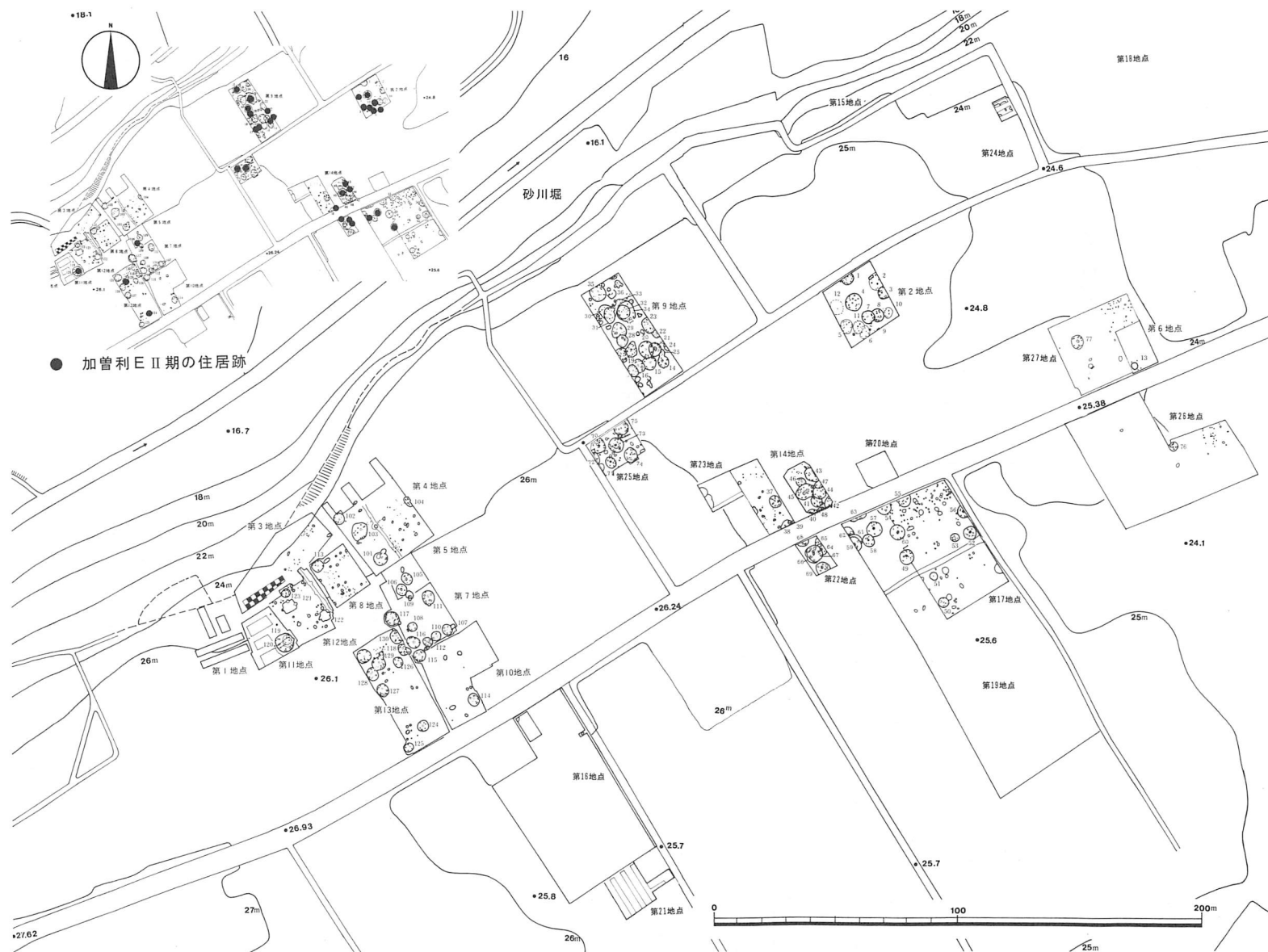
旧石器時代の調査は全個所で行なったわけではないが、第18地点の調査では埋没谷に沿った崖沿いにナイフ型石器を伴う礫群等が分布する。今のところAT層以下で石器の検出はない。

縄文時代では早期から後期にかけての遺跡が展開する。上述の遺跡の他、大井町では小田久保遺跡、下流の富士見市で東渡戸遺跡、薬師前遺跡、貝塚山遺跡等である。その中で東台遺跡は住居だけでも早期1軒、後期3軒、中期では99軒の住居が調査され、双環状の住居分布を示す。特に中期は住居の密集度や、出土する土器の量や質から拠点集落であったと思われる。その他落とし穴や炉穴などを多数検出している。

奈良・平安時代には遺跡の北東部の第15・18地点で八世紀後半の製鉄炉や炭焼き窯などを検出、県内でも有数の規模と古さを誇る製鉄関連遺構である。



第107図 東台遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第108図 東台遺跡縄文時代中期住居跡 (1/2, 500)

2 東台遺跡第27地点

(1) 調査の概要

調査区は遺跡の東側に位置し環状に配置する集落の端にあたる。砂川堀からは170m離れる。隣接する東側の調査では縄文時代中期の住居跡を1軒検出した。

調査は個人住宅建設に伴うもので、1997年2月19日から3月14日まで、バック・ホウで調査区の東西に半転して表土除去した後、人力で調査した。調査の結果、縄文時代中期の住居跡1軒、炉穴1基、縄文時代の土坑1基、ピット44基、おとし穴1基を確認し調査した。

(2) 遺構と遺物

①77号住居跡

【位置】 集落の東端に位置する。砂川堀からは170m離れるが、調査区の50m北東には埋没谷がある。

【形状】 平面形態は南北方向に長い隅丸の六角形である。長軸5.95m、短軸4.80mを測る。床面は概ね平坦だが、機械掘りの耕作跡が東西に入る。壁は緩やかに立上り住居の断面は皿状を呈する。確認面からの深さは24cmである。

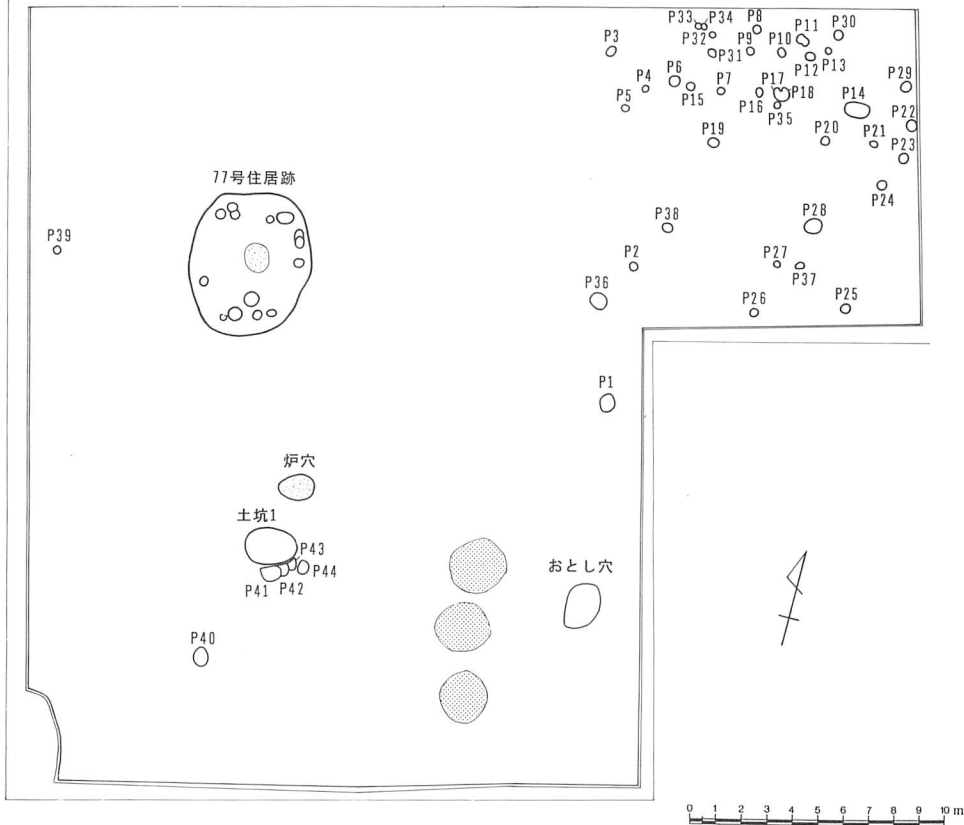
【柱穴】 8本の主柱穴を5ヶ所から検出した。北東部のP3とP4、南東部のP5とP6、北西部のP11とP

13はそれぞれまとまっている。また、北にあるP1の対面には埋甕があり、柱穴と埋甕はそれぞれ六角形の頂点に配置している。主柱穴の径は26cm～45cm、深さは62cm～105cmである。深さと壁からの距離で分類すると、P3とP6、P9、P13の4本柱と、P1とP4、P5、P9、P11の5本柱の2種類の柱穴配置が推定できる。柱穴間の距離は4本柱が240cm～320cm、5本柱が200cm～290cmである。

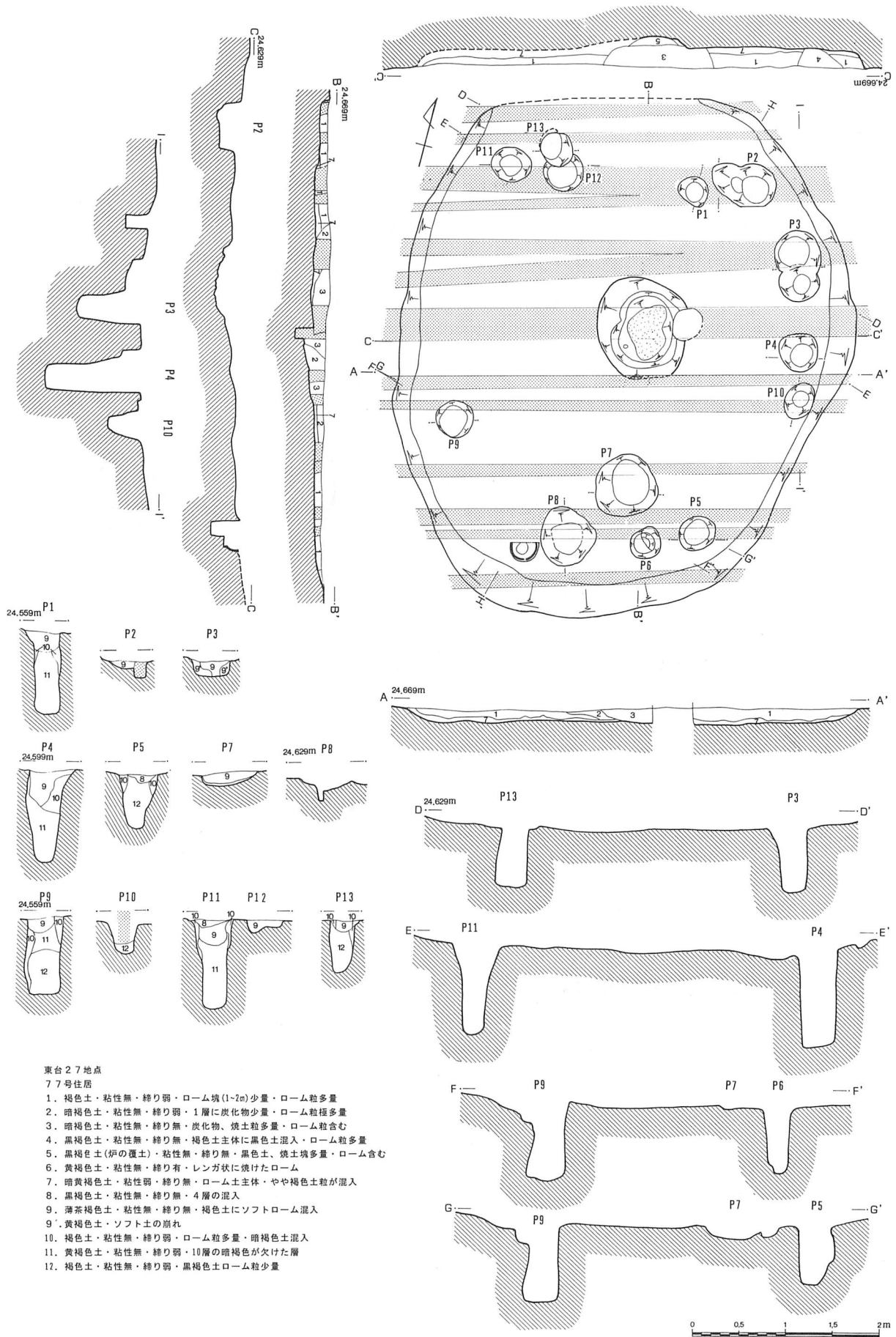
第26表 東台遺跡77号住居跡ピット一覧

No.	形 態	確認面	底 径	深 さ	備 考
1	楕円形筒状	33 × 28	20 × 18	90	主柱穴
2	楕円形皿状	70 × 46	30 × 27	27	
3	円形筒状	43 × 40	22 × 18	68	主柱穴
4	円形筒状	43 × 42	24 × 20	106	主柱穴
5	円形筒状	40 × 35	28 × 26	64	主柱穴
6	円形筒状	35 × 32	22 × 22	72	主柱穴
7	円形皿状	68 × 65	50 × 40	15	
8	円形皿状	65 × 60	34 × 32	12	
9	円形筒状	42 × 40	30 × 26	86	主柱穴
10	楕円形筒状	42 × 32	16 × 16	35	
11	円形筒状	45 × 37	24 × 22	98	主柱穴
12	円形皿状	44 × 42	32 × 32	14	
13	円形筒状	37 × 35	32 × 24	65	主柱穴

【炉】 炉は地床炉で、鉢状に掘りこまれ、内側がレンガ状に硬く赤化している。赤化範囲は62cm×47cm、赤化面の下も熱のため厚さ17cmのロームが硬化していた。掘り方の平面形態は円形で118cm×102cm、深さ21cmである。



第109図 東台遺跡第27地点遺構配置図(1/300)



【埋甕】住居跡の南側、壁から50cm、炉から210cmの位置にある。土器は胴下半分を打ち欠いた深鉢である。土器とほぼ同径の穴に埋め込まれている。掘り方の平面形態は円形で径32cm、深さ15cmである。

【遺物出土状況】床直上遺物などではなく、大きな破片も少なく、小さな破片が覆土中に散在する。

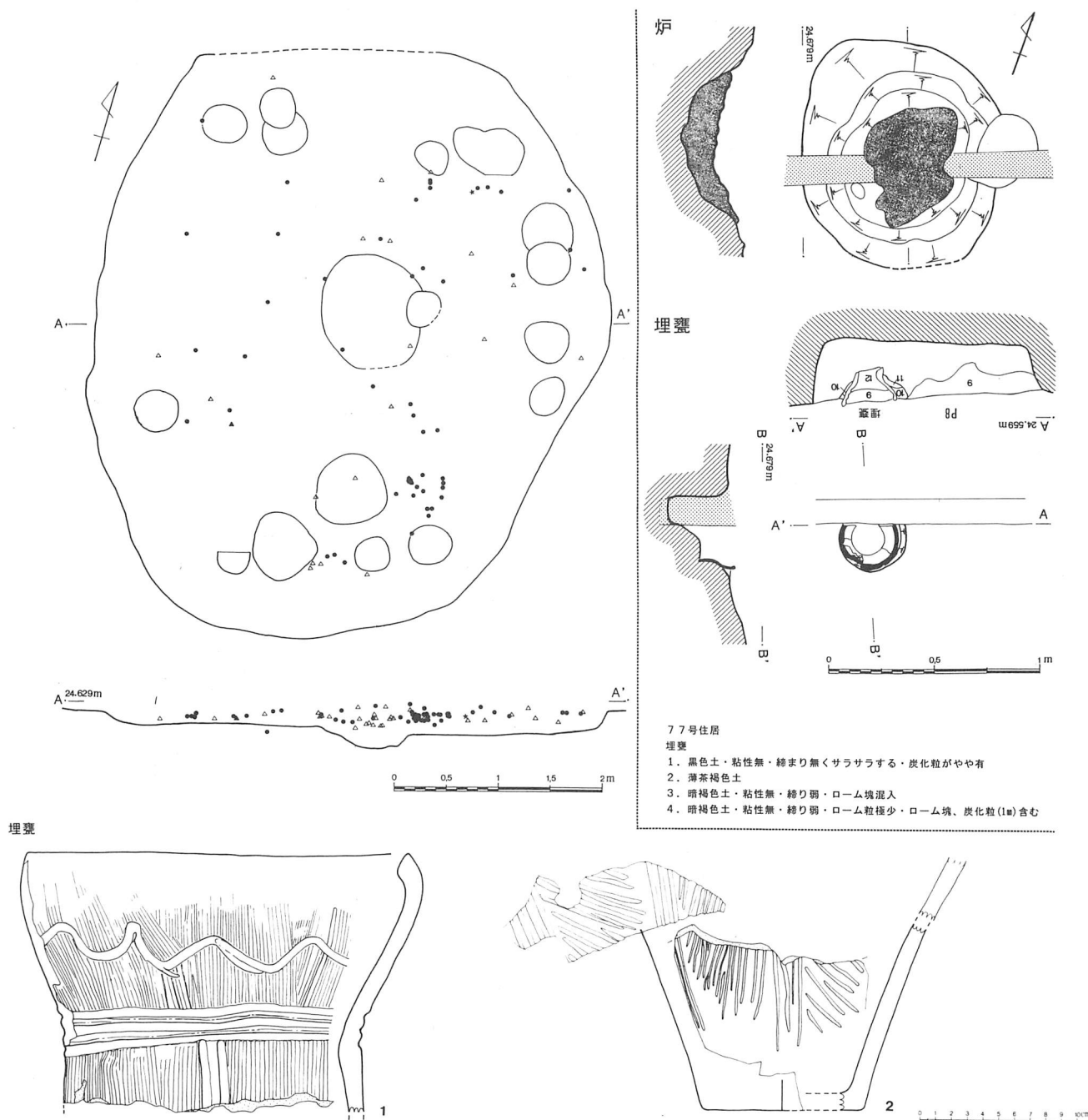
【時期】埋甕から加曽利EⅡ式期

【出土遺物】1は埋甕で、胴下半分を打ち欠いた深鉢。口径24.3cm、残高16.3cm、器厚1.0cm。地文は条線で、2cm幅に8本単位を右回りに重ねる。口縁部は波

状沈線を11単位巡らす。頸部は3本の沈線、胴部に2本組の懸垂沈線を4単位施文する。色は暗褐色で、焼成はやや脆い。胎土に橙色粒子(2~4mm)を極多量含む。外面に煤付着。加曽利EⅡ並行の連弧文土器。

2は覆土出土の深鉢下半で約1/4残存。残高11.6cm、推定底径10.4cm、器厚1.1cm。4本組の沈線による懸垂文を施文し、間を斜めの沈線列で充填。色は橙色で、焼成は堅く緻密。胎土には砂(1~3mm)を多量に含む。内面に炭化物付着。加曽利EⅡ並行の曾利式土器。

3、4はP4は出土。3は条線地文で半截竹管によ



第111図 東台遺跡第27地点77号住居跡遺物出土状況(1/60)・炉・埋甕(1/30)・出土遺物(1/4)



第112図 東台遺跡第27地点77号住居跡出土遺物(1/3)

る平行沈線で、蛇行文と懸垂文を施文する。4は綾杉状の沈線文。5～7はP7出土。5は条線地文で半截竹管による波状沈線と平行沈線を巡らす口縁部。6は縦のRL縄文地文の口縁部。7は微隆帯文。

8以降は覆土出土。8は波状口縁で、刻みのある隆帯を垂下し三角押文と列点文で区画する。9は刻みのある隆帯区画で、脇は半截竹管刺突列。10は雲母含む口縁部。11は半截竹管の押引き文。8～11は阿玉台Ⅱ。12は隆帯脇に角押文。13は隆帯両脇を幅広角押文と細い角押文で施文し、区画内は横のLR縄文。12、13は勝坂1。14は隆帯区画内に爪型刺突列と沈線。15は半截竹管で刻んだ隆帯と半隆帯で区画し、中は連続刺突文。16は爪型連続刺突と半円刺突。14～16は勝坂2。17～19は沈線施文の口縁部。20～24は縦のRL縄文に平行沈線の磨消。25～31は縄文。33～37は沈線。38～46は条線地文で38、39は波状。41は連弧の沈線。43は隆帯。47～50は無文の口縁部。51は底部。53～55も無文。56は頁岩の打製石斧で刃部が欠ける。残長3.6×幅5.7×厚さ1.8cm、重さ46.3g。

②その他の遺構

【土坑1】調査区の中央南寄り、77号住居跡の8m南に位置する。南側に4基のピットが接する。平面形態は楕円形で壁はやや急に立ち上がる。205cm×134cm・深さ42cm、底径115cm×105cm。

【炉穴】調査区の中央南寄り、77号住居跡の6m南に位置する。1.4m南に土坑1がある。径15cmとわずかが焼土範囲を検出し、その周り72cm×46cmの楕円形の範囲のロームが熱のため硬化していた。

【落とし穴】調査区の南東部に位置する。長軸は北を向き、砂川堀に対しては直角になるが、埋没谷に対しては長軸が平行になる。平面形態は楕円形で208cm×124cm、底面は長方形で160cm×52cm。深さ165cm、壁はほぼ垂直である。底面にピットは検出されなかった。土の締まりは全体にやや弱く、下層はボロボロのブロックが主体となる。

【出土遺物】1～28は土坑1出土。1は隆帯で楕円区画し脇は2列の角押文の阿玉台Ⅱ。2は刻みのある隆帯区画で、断面台形の勝坂3。3は刻みのある隆帯と平行沈線で区画し、爪型連続刺突と半円刺突で充填。

4は爪型連続刺突と波状沈線。3、4は勝坂2。5は

第27表 東台遺跡第27地点ピット一覧

No.	形態	確認面	底径	深さ	備考
1	楕円形皿状	80×55	60×43	17	
2	円形筒状	34×30	23×12	35	
3	楕円形U字型	48×38	18×18	18	
4	円形筒状	32×25	7×7	43	
5	円形皿状	33×30	18×12	8	
6	楕円形皿状	52×42	30×22	13	
7	円形U字型	38×35	10×10	18	
8	円形筒状	33×30	8×8	37	
9	円形筒状	24×22	8×8	27	
10	円形筒状	40×35	12×10	20	
11	円形皿状	52×44	20×16	10	
12	円形U字型	42×34	12×10	15	
13	円形筒状	27×27	10×10	47	
14	楕円形皿状	97×56	25×18	27	
15	円形皿状	35×32	21×20	11	
16	楕円形筒状	45×32	12×7	45	
17	楕円形筒状	47×27	10×8	43	
18	楕円形筒状	55×26	15×15	50	
19	円形U字型	50×42	10×10	25	
20	円形U字型	32×25	8×8	13	
21	円形筒状	35×30	10×10	32	
22	円形筒状	45×42	15×8	30	
23	円形すり鉢状	50×50	28×20	35	
24	円形すり鉢状	40×	5×	25	
25	円形皿状	45×37	32×28	15	
26	円形筒状	32×28	15×10	42	
27	円形筒状	32×27	10×10	35	
28	楕円形皿状	80×70	60×41	22	
29	円形筒状	45×45	15×15	46	
30	円形筒状	35×35	7×7	38	
31	円形筒状	40×33	10×8	53	
32	円形U字型	32×28	10×7	18	
33	楕円形筒状	25×22	8×5	22	
34	楕円形皿状	42×33	30×22	10	
35	楕円形筒状	32×25	15×10	24	
36	楕円形皿状	75×60	46×42	16	
37	楕円形	30×20			
38	円形U字型	40×40	22×20	19	
39	円形筒状	42×34	25×18	40	旧P1
40	楕円形U字型	82×58	45×36	22	旧P2
41	楕円形U字型	80×64	32×28	26	旧P3
42	円形U字型	45×40	28×25	22	旧P4
43	円形筒状	45×35	35×15	35	旧P5
44	楕円袋状	62×44	57×30	38	旧P6

隆帯区画。6は横のRL縄文、7は突起のある口縁部。

8は縦のLR縄文に平行沈線の磨消。9～17は縄文地文。18は撚糸。19は横のRL縄文に微隆帯。20、21は沈線。22は条線。23、24は沈線列。25は波状条線。

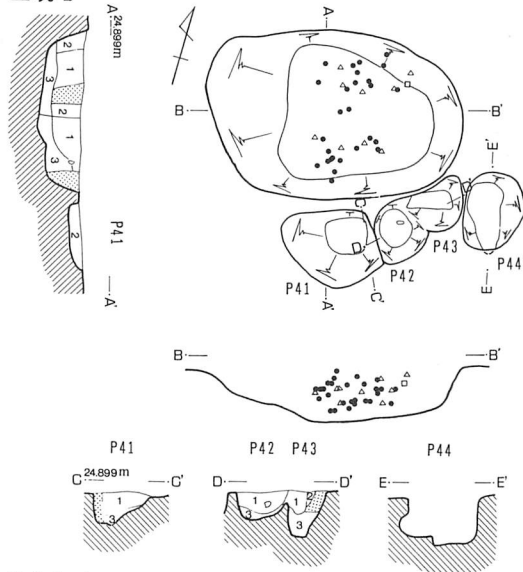
29は炉穴出土で、縦のRL縄文に平行沈線の磨消。

30～36は落とし穴出土。30～34縄文地文で32は磨消。

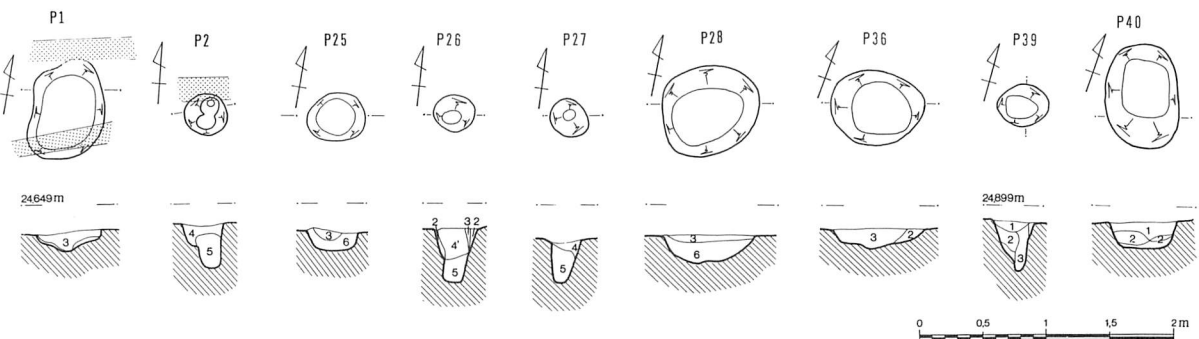
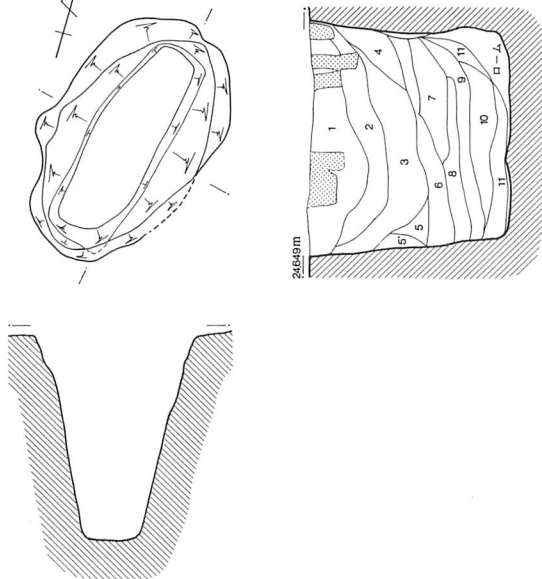
37、38はP4出土で37は刻まれた懸垂隆帯に胴部へ爪型刺突列の阿玉台Ⅱ。39～41はP5出土で全て無文。42はP6出土で条線。43はP7出土で沈線。44、45はP14出土で44は縦のRL縄文に隆帯。46はP20出土で隆帯区画内に爪型連続刺突と沈線。47はP22出土で条線。

48以降は遺構外出土。48は橋状の把手で、連続刺突で施文。49は連続刺突と三角押文。50は刻みある隆帯区画に爪型連続刺突。51は隆帯脇を爪型連続刺突。52～55はRL縄文に沈線の磨消で、53はU字区画。56～59は縄文。60は無節のR縄文。61～63は条線。64は無文土器転用の土製円板。65は沈線。66は黒曜石の石鏃。

土坑 1



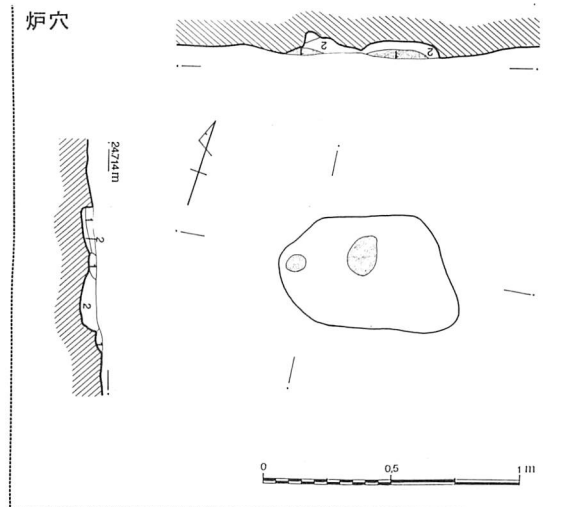
おとし穴



ピット

1. 黒色土・粘性無・締り無くサラサラの砂質
2. 黄褐色土・粘性無・締り無・ロームにしみ状の褐色土含む
3. 黄褐色土・粘性無・締り弱・ロームに斑状の褐色土混入
4. 黄褐色土・粘性無・締り弱・2層と3層の間
- 4'. 4層と5層の間
5. 暗褐色土・粘性無・締り弱・褐色土に黒色土粒・ローム粒が斑状に混入
6. 黄褐色土・粘性無・締り無・ローム崩土
7. 茶褐色土・粘性無・締り無・やや塊状呈す

炉穴



焼土 (炉穴)

1. 黒褐色土・粘性無・締り無・ソフトローム含む・ローム粒多量・焼土少量
2. 黄褐色土・粘性無・締り弱・ソフトローム土・熱変成ため塊状・灰色がかり・ボロボロ崩れる

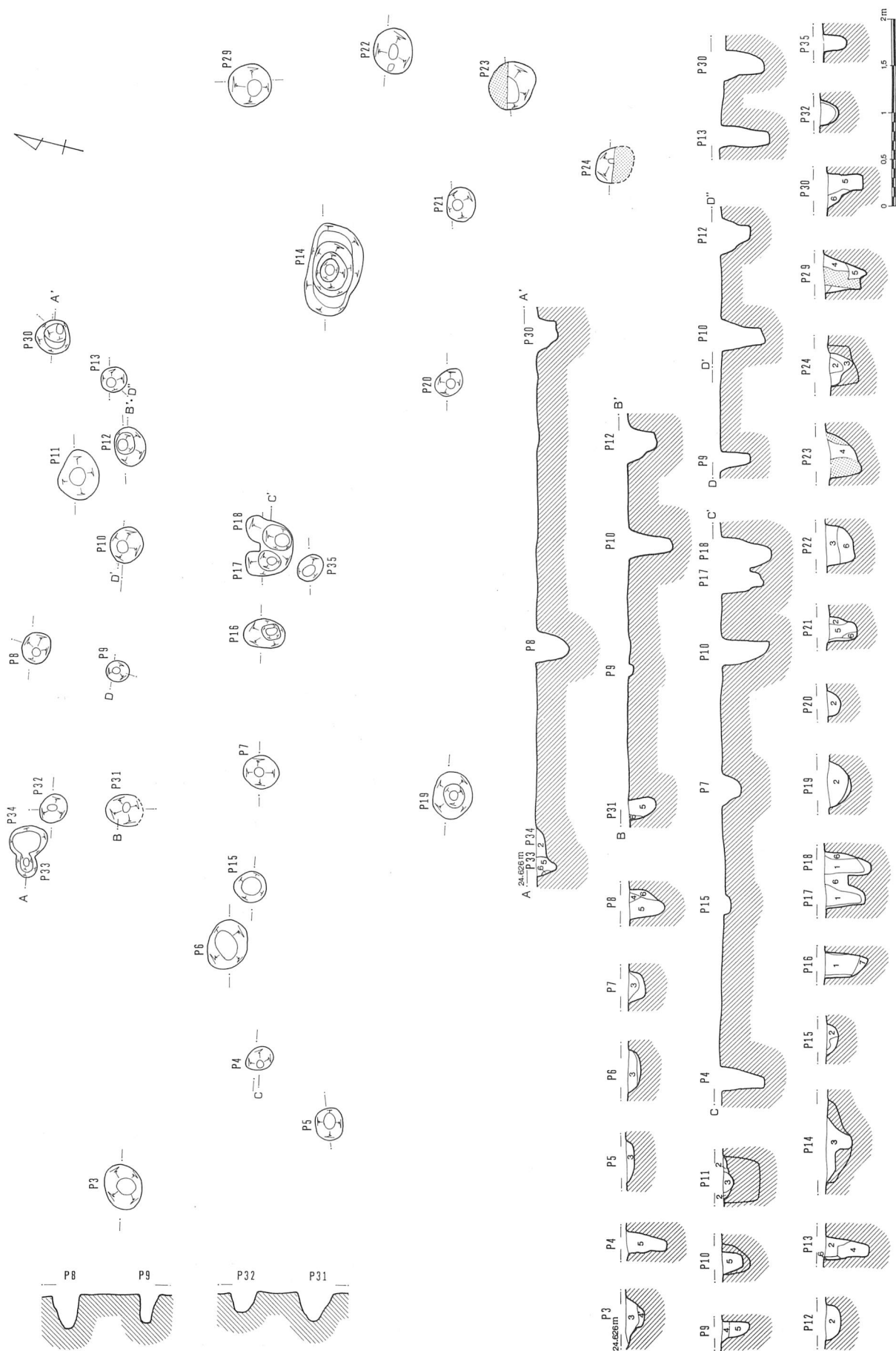
土坑 1・P41

1. 黒褐色土・粘性無・締り弱・黒色土主体・ローム粒(2-3mm)含む
2. 茶褐色土・粘性無・締り弱・黒色土主体・ソフトローム土混入・ローム粒含む
3. 暗褐色土・粘性無・締り弱・1層に類似・ローム粒・炭化物含む

おとし穴

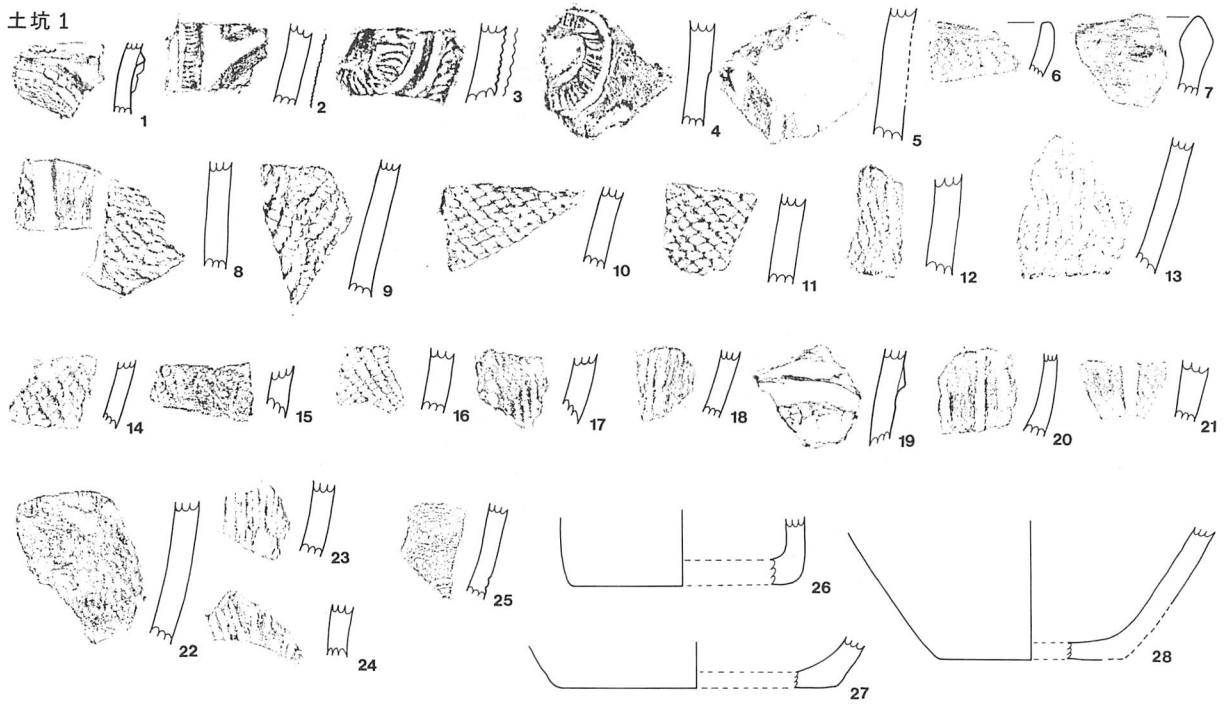
1. 黒色土・粘性無・締り無くサラサラの砂質・黒色土主体・ソフトローム粒混入
2. 暗褐色土・粘性無・締り無・暗褐色土主体・ソフトローム粒多量・1層も混入
3. 暗茶褐色土・粘性無・締り無・黄褐色土+褐色土+黒色土の混合土・ソフトローム粒多量
4. 暗茶褐色土・粘性無・締り無・3層に類似・黒色土多量
5. 暗茶褐色土・粘性無・締り無・3層に類似・ソフトローム土多量
- 5'. 黄褐色土・粘性無・締り無・ソフトロームの崩土
6. 暗茶褐色土・粘性無・締り無・4層に類似・ハードローム塊・ソフトローム塊混入
7. 暗黄褐色土・粘性無・締り無・ハードローム・ソフトロームの崩土からなる・黒色土も混入
8. 暗褐色土・粘性無・締り無・暗褐色土にソフトロームの崩土が多量混入
9. 黄褐色土・粘性無・締り無・ソフトロームの崩土・黒色土混入
10. 暗黄褐色土・粘性無・締り無・ソフトロームの崩土主体・黒褐色土斑状に混入
11. 黒色土・粘性無・締り無・黒色土主体・ソフトローム土混入

第113図 東台遺跡第27地点土坑遺物状況・ピット・おとし穴(1/60)・炉穴(1/30)



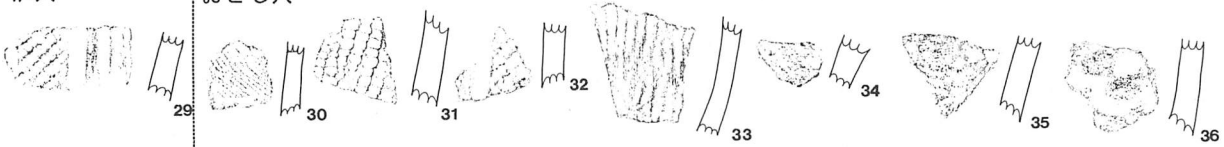
第114図 東台遺跡第27地点ピット (1/60)

土坑 1



炉穴

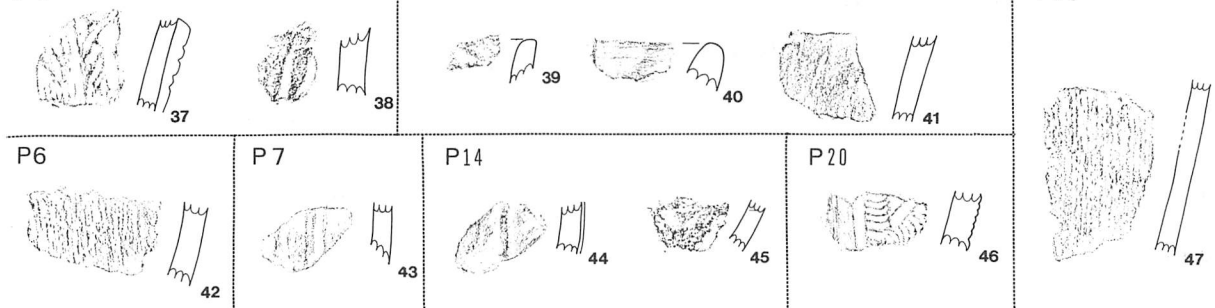
おとし穴



P4

P5

P22

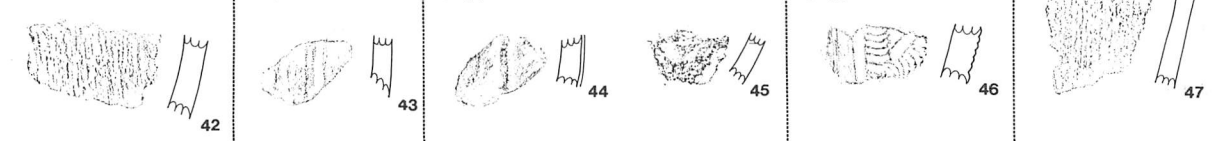


P6

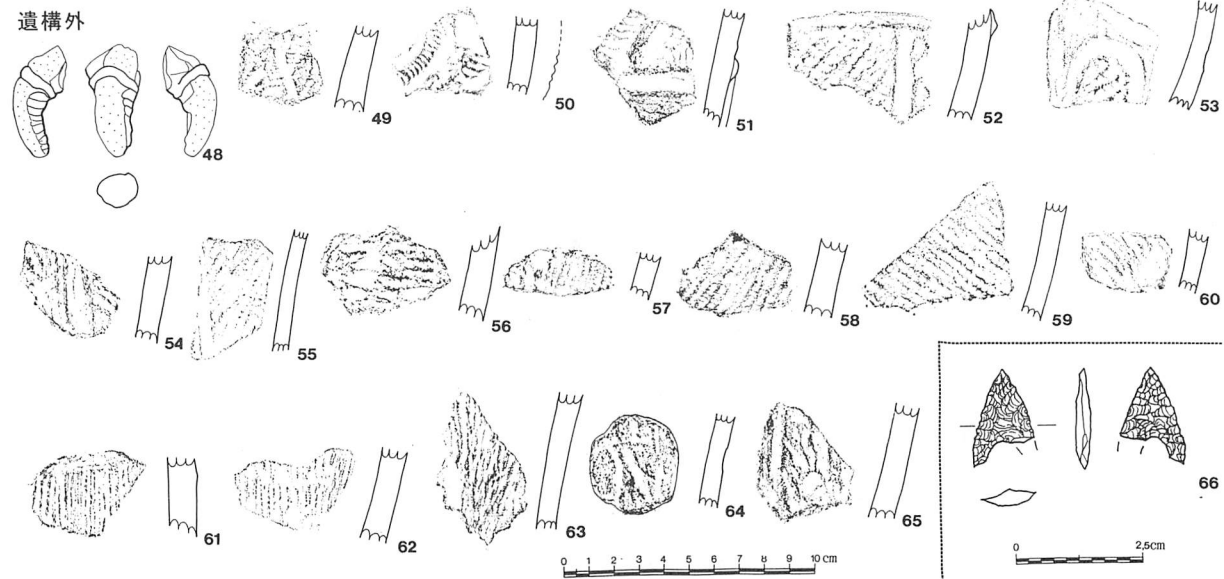
P7

P14

P20



遺構外



第115図 東台遺跡第27地点出土遺物 (1/3) (2/3)



東台遺跡第27地点調査区全景



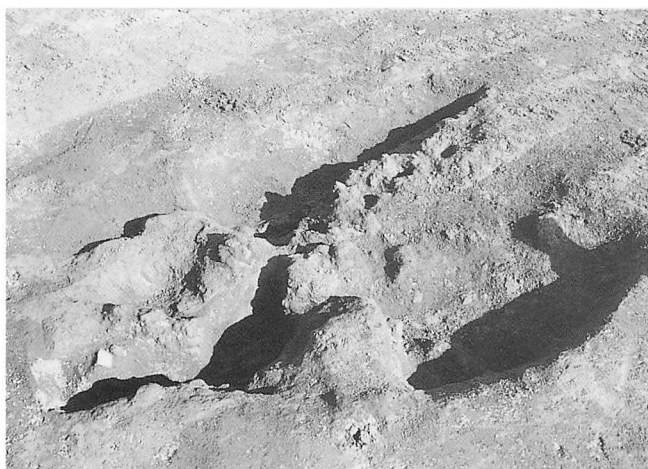
東台遺跡77号住居跡



東台遺跡77号住居跡 炉



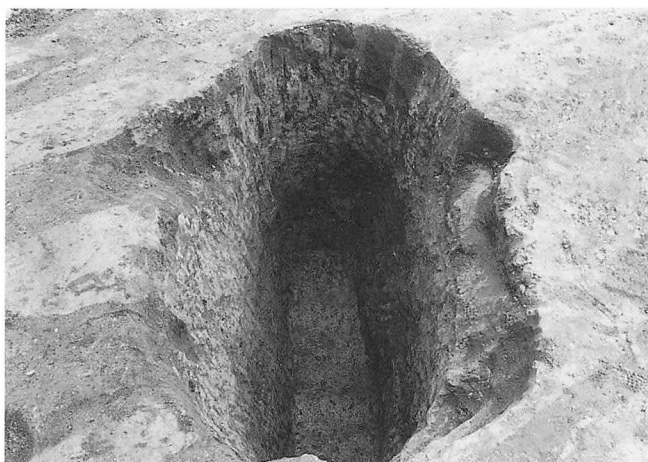
東台遺跡77号住居跡 埋甕



東台遺跡第27地点 炉穴



東台遺跡第27地点 土坑1



東台遺跡第27地点 落とし穴



東台遺跡第27地点 ビット群



東台遺跡第26地点調査区全景



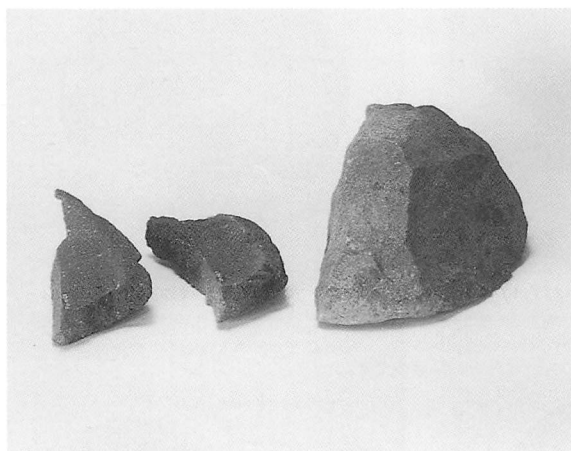
東台遺跡第26地点本調査



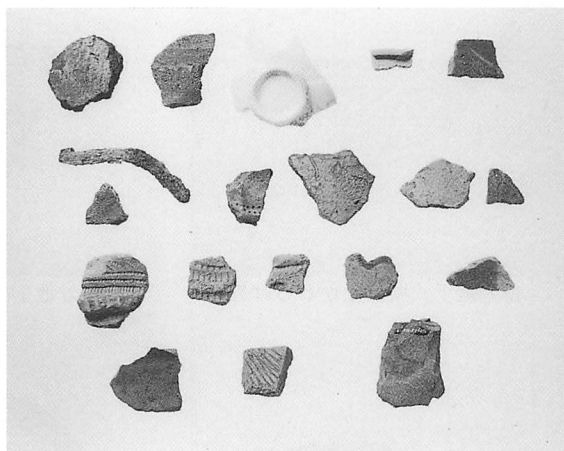
土坑4出土かわらけ15底部



40号地下式竈出土かわらけ7見込み



本村遺跡第52地点土坑出土遺物



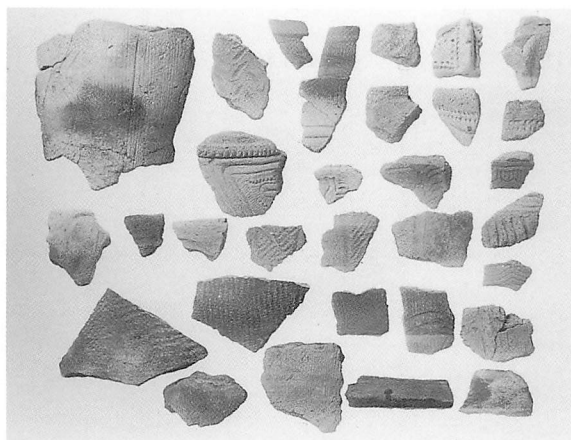
本村遺跡第53地点出土遺物



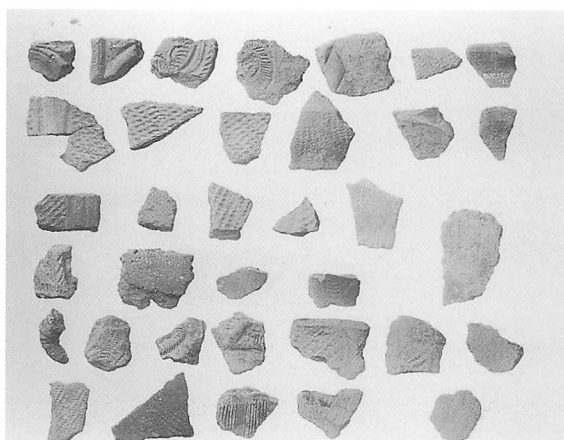
東台遺跡77号住居跡埋甕



東台遺跡77号住居跡出土遺物



東台遺跡77号住居跡出土遺物



東台遺跡第27地点出土遺物